大阪公立大学
2025年度　春の人権問題講演会

公衆衛生と日本の行政：歴史からの教訓

　2020年以降の新型コロナウィルスの流行とその感染者の拡大を契機にわたくしたちの生活は一変しました。そして現代の日本にあって、感染症から自由になれないことを改めて知ることとなりました。
　過去には感染症の流行により多くの犠牲者を出し、行政がこれへの対応を求められてきたことも忘れることはできません。例えば、明治期に大流行したコレラでは、10万人以上の人命を失った年もありました。そしてコレラをはじめとする感染症対策に当時の役所である内務省の職員は奔走しました。ここでは人々の生活や健康を維持するための効果的な公衆衛生について、これまでの日本の行政の取り組みを振り返りながら考えてみたいと思います。

日　時：2025年5月30日（金）10：45～12：15

開催方法：オンライン講演（zoom）　※申し込み必要

小島　和貴 氏（桃山学院大学法学部教授）

●● 講演者プロフィール ●●

慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程修了、博士（法学）（慶應義塾大学）。テキサス大学リサーチフェロー等を経て現職。専攻は行政学、日本行政史。日本官僚制の形成過程、とりわけ官僚と政策、中央地方関係等について関心をもってきた。明治期に活躍する長与専斎を、近代日本最初の「衛生官僚」として位置づけ、日本の医療・公衆衛生と官僚の役割についてまとめたのが『長与専斎と内務省の衛生行政』（慶應義塾大学出版会）であり、長与の人となりや家族との関係などは『長崎偉人伝　長与専斎』（長崎文献社）で取り上げた。歴史的な関心に加えて、行政不服審査会など各種審査会委員を務めながら、実務の視点から日本の官僚制にアプローチするという活動にも取り組む。

【申込方法】
- 大阪公立大学、大阪市立大学・大阪府立大学の学生・教職員、一般の方：下記URLまたはQRコードからお申込みください。https://forms.office.com/r/JpGCjVMwzT
  お申込み時に記載いただいたメールアドレス宛てに、オンライン参加用のURL等をご連絡します。
  ※授業振替の学生の方はQRコードを利用せず、担当教員の指示に従ってください。

【参加費】無料【定員】500名【申込締切】2025年5月23日（金）
※定員に達した場合は締切を早めることがあります。

【注意事項】
- オンラインでの参加は必ず事前にお申し込みください。
  なお、参加にはパソコン、スマートフォンなどの端末およびインターネット環境が必要です。
- 視聴にかかる通信費等は、視聴する方のご負担となります。

主催：大阪公立大学　人権問題委員会

大阪公立大学
Osaka Metropolitan University